

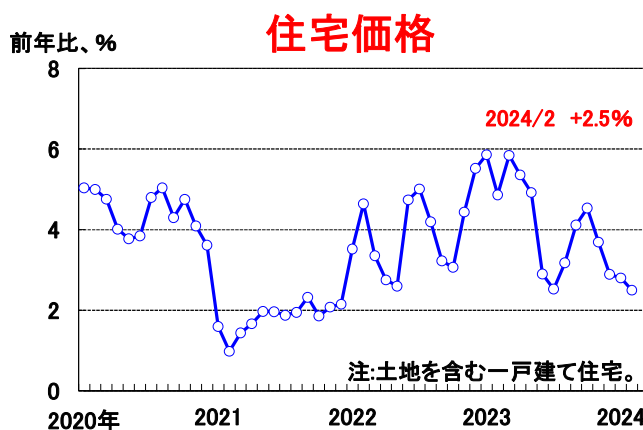
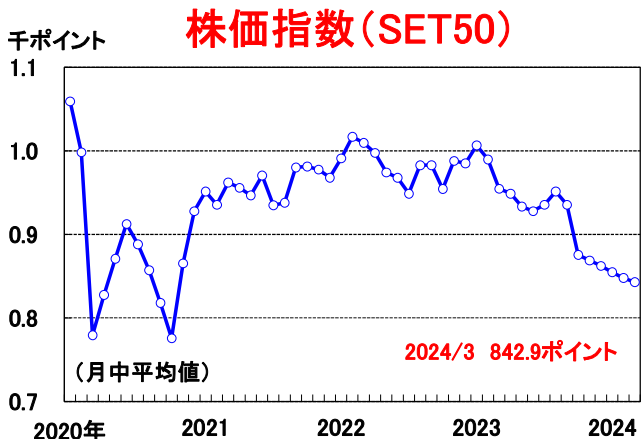
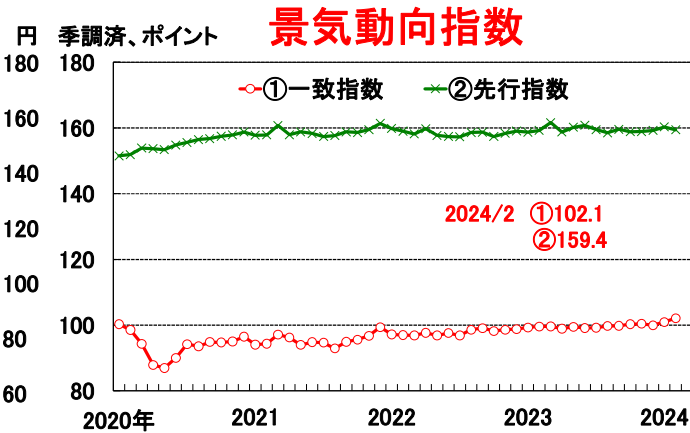
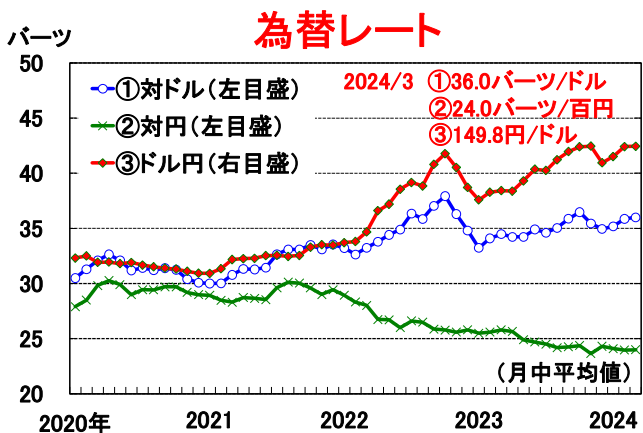
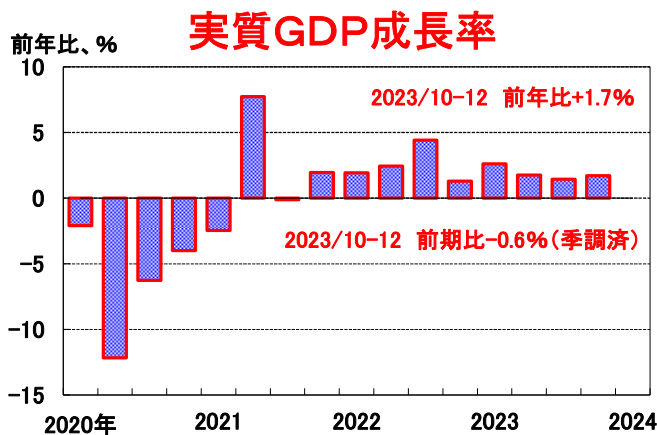
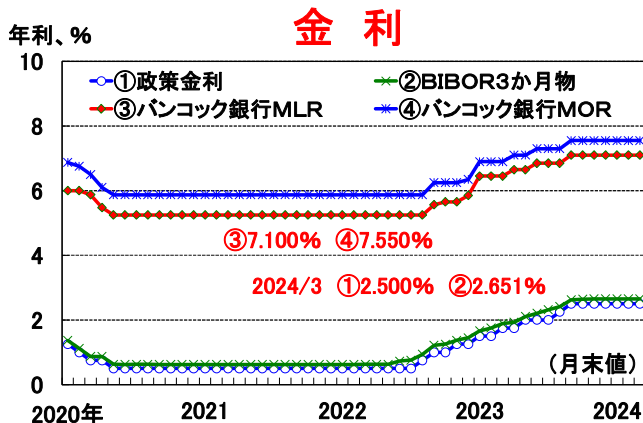
グラフで見るタイ経済 2024年4月号(No. 178)

タイの景気は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、総じて鈍い動きとなっている。2月の指標をみると、民間投資は前月比+0.8%とパソコン関連投資の増加などから持ち直したものの、個人消費指数は同+0.1%と新車購入の減少などから伸び悩んだ。輸出は中国向けや日本向けが不調で、全体でも前年比+3.6%と前月の伸びを下回った。こうした中、同月の工業生産指数は前月比+2.8%と上昇したものの、水準は依然として低めである。続く3月の製造業PMIは49.1と上向いたものの、8か月連続で中立水準の50を下回っている。

【足元の景気判断】

指標	景気全般	輸出	民間投資	個人消費	工業生産	製造業PMI
判断結果	➡	➡	➡	➡	➡	➡

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

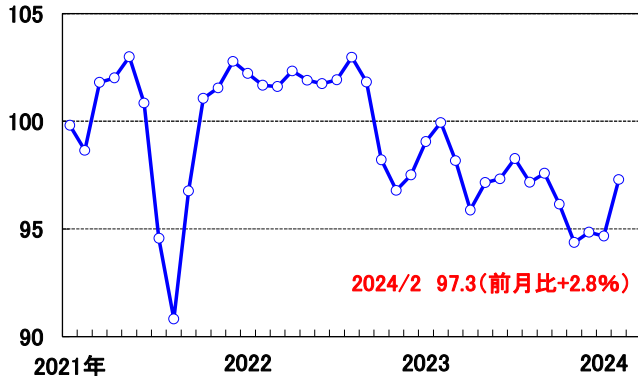


(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

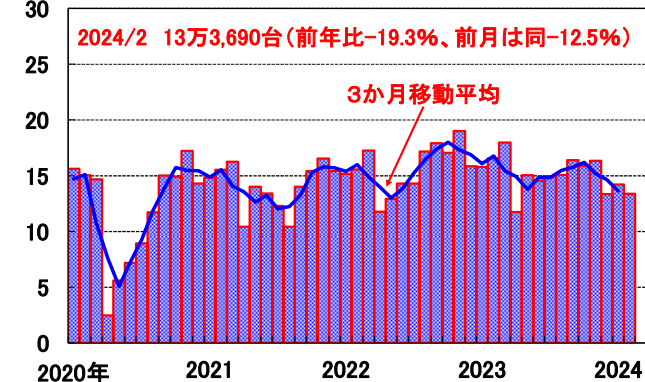
季調済
2021年=100

工業生産指数



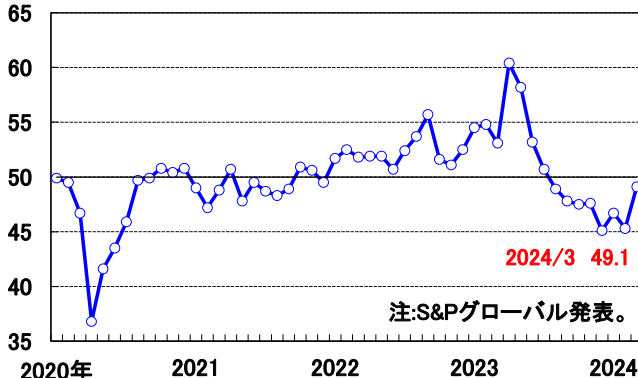
万台

自動車生産台数



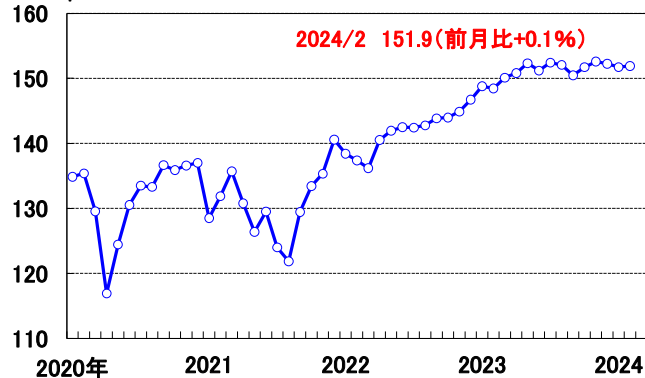
季調済
中立水準=50

製造業PMI



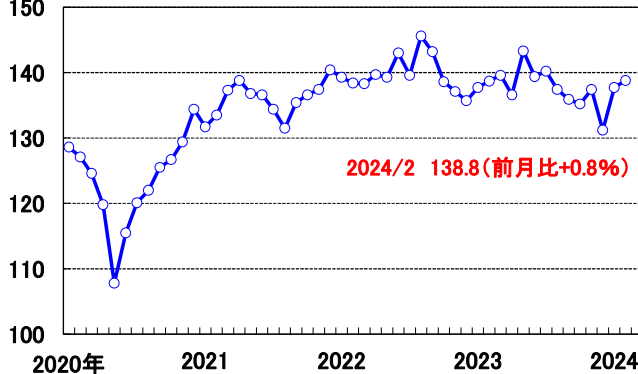
季調済
2010年=100

個人消費指数



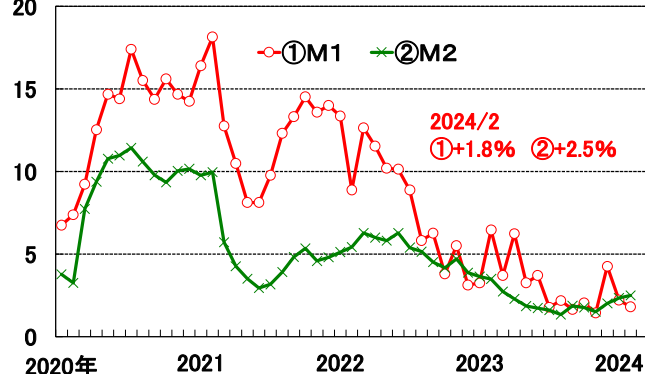
季調済
2010年=100

民間投資指数



前年比、%

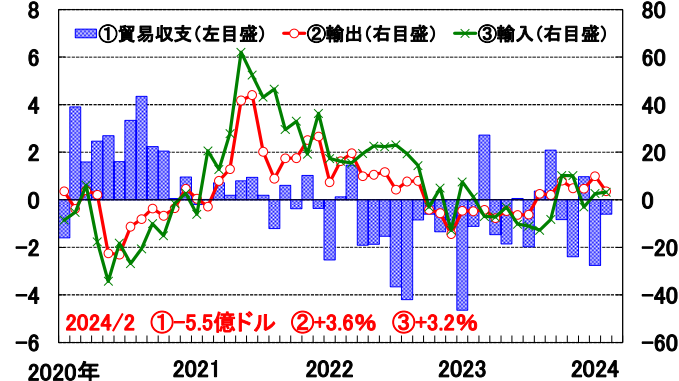
マネーサプライ



10億ドル

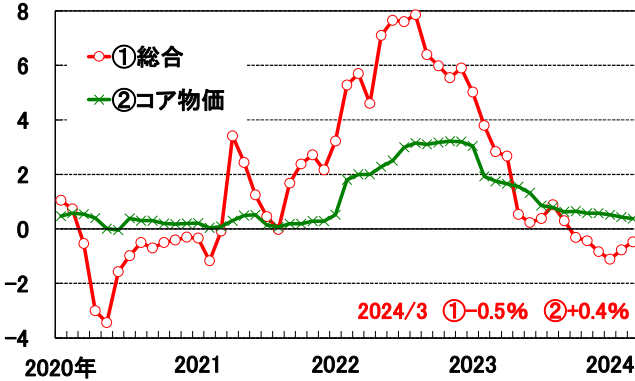
貿易収支

前年比、%



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (F T I)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。